

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 52)

<b>件名</b>	制御盤のコンピュータ基板のコネクタ接続不良による故障警報の発生	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋(ユーティリティー系を除く): 制御盤</p> <p>(2) 発生の状況 通常運転時</p> <p>(3) 概要 生産系制御盤のコンピュータ基板のコネクタ部接続不良による故障警報発生</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋の換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であることから、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 制御盤のコンピュータ部は二重化しており、故障を検知すると直ちに正常コンピュータ側に切り替わり、設備は正常な状態を維持できるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> コンピュータ基板またはコンピュータ基板のコネクタ接続不良の復旧作業は、放射性物質を直接扱わないエリアでの作業であり、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 制御盤のコンピュータ部は二重化しており、故障を検知すると直ちに正常コンピュータ側に切り替わり、設備は正常な状態を維持できるため、他工程への影響は生じない。</p>	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 正常にコンピュータが切り替わっていることを確認する。</p> <p>(2) 故障側コンピュータをシステム除外した後停止する。</p> <p>(3) コンピュータ基板の点検またはコネクタの点検・不良箇所の復旧作業を行い、コンピュータを起動する。</p> <p>(4) コンピュータの機能が正常であることを確認し復旧する。</p>	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="text-align: center;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

